資料６－１

令和８年度第２回
枚方市上下水道事業経営審議会

社会資本総合整備計画の事後評価について
（下水道事業）



枚方市上下水道局イメージキャラクター
アクリン

枚方市上下水道局
Hirakata Water &
Sewerage Bureau

令和8年(2026年)11月12日(木)
上下水道部　上下水道政策課

１.社会資本整備総合交付金

１－１．社会資本整備総合交付金

社会資本整備総合交付金

成長力強化や地域活性化等に
つながる事業

主に汚水事業

○未普及解消のための新規整備
など

主に雨水事業

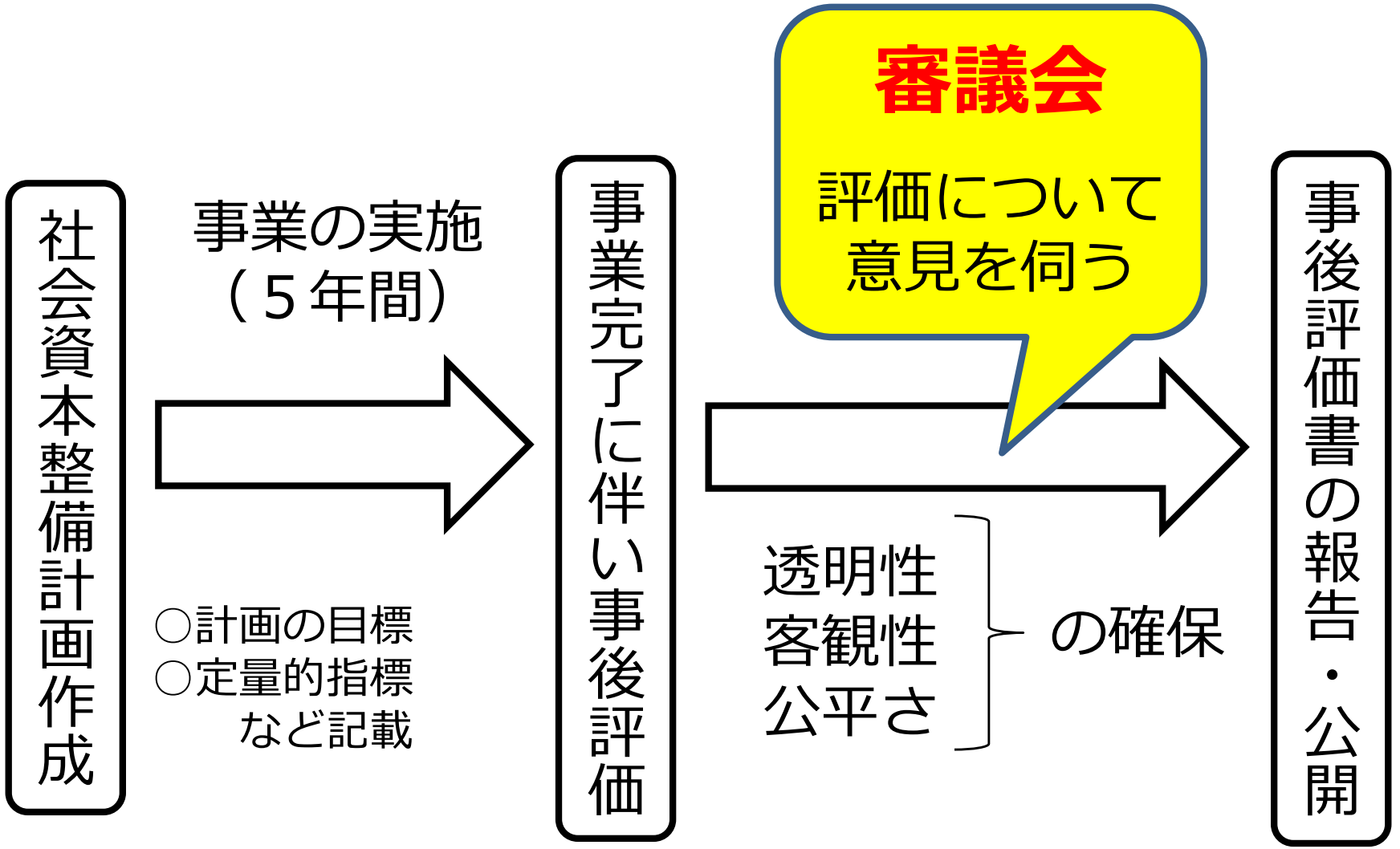
○浸水対策
○老朽化対策
○地震対策　など

防災・安全交付金

「命と暮らしを守るインフラ再構築」、「生活空間の安全確保」を集中的に支援

１.社会資本整備総合交付金

１－２．交付金交付事業の流れ



１.社会資本整備総合交付金

１－３．評価対象となる整備計画

社会資本整備総合交付金

第３次枚方市下水道整備計画
（令和２年度～令和６年度）

防災・安全交付金

第３次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）
（令和２年度～令和６年度）

２.事後評価（社会資本整備総合交付金）

２－１．整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称　：第３次枚方市下水道整備計画

計画の期間　：令和２年度　～　令和６年度（５年間）

計画の目標　：下水道事業を推進することにより「快適な生活環境の創造」を目指し、枚方市上下水道ビジョンに掲げる下水道の役割の実現を図る。

定量的指標　：下水道整備人口普及率の向上

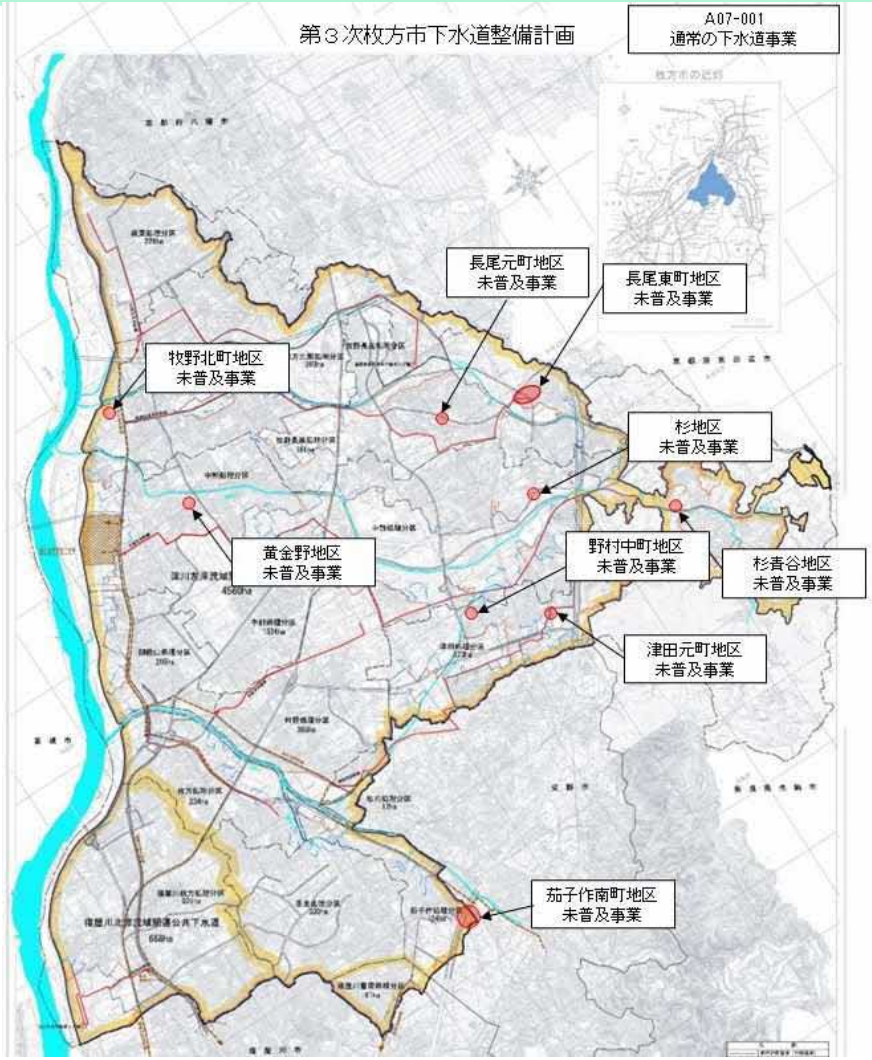
定量的指標の定義及び算定式

下水道整備人口普及率（%）　＝

（下水道整備区域内人口　／　行政人口）　×　１００

２.事後評価（社会資本整備総合交付金）

２－２．事業の実施箇所（社会資本整備総合交付金）



２.事後評価（社会資本整備総合交付金）

２－３．目標値の達成状況

下水道整備人口普及率

＜令和２年度当初＞

389,151人　／　399,953人　×　100　＝　97.3%

※整備計画作成時は97.1%と想定

＜令和６年度末＞

383,541人　／　391,573人　×　100　＝　97.9%

（目標値：97.5%）

目標達成

３.事後評価（防災・安全交付金）

３－１．整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称　：第３次枚方市安全・安心下水道整備計画（防災・安全）

計画の期間　：令和２年度　～　令和６年度（５年間）

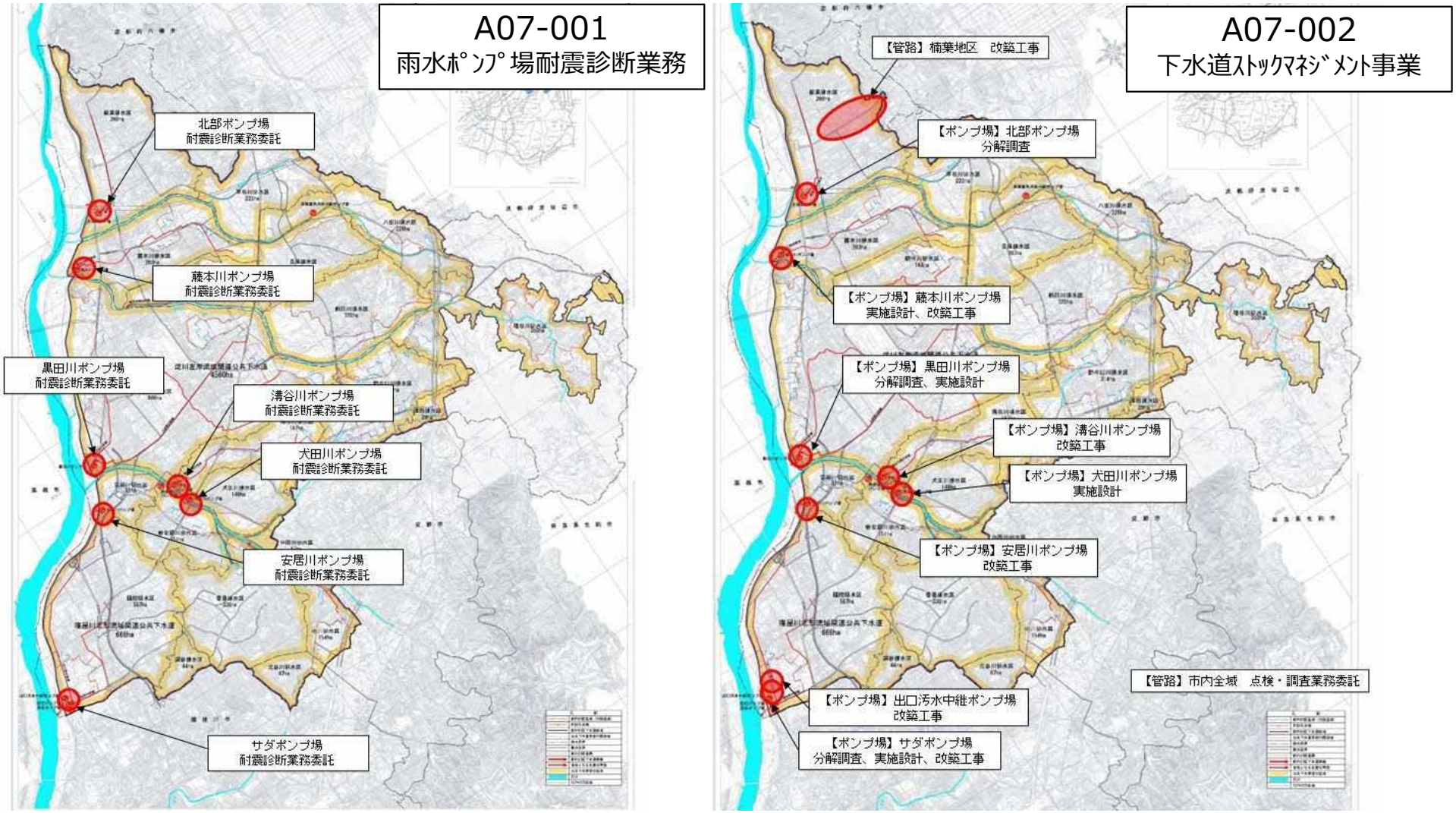
３－２．計画の目標

計画の目標　：下水道施設の老朽化対策として必要な改築更新事業等を進めると共に災害に対応するための耐震対策事業を行うなど、下水道事業を推進することにより枚方市上下水道ビジョンに掲げる「安全・安心な市民生活の確保」を目指し、下水道の役割の実現を図る。

定量的指標　：「３－４．目標値の達成状況」にて説明

3.事後評価（防災・安全交付金）

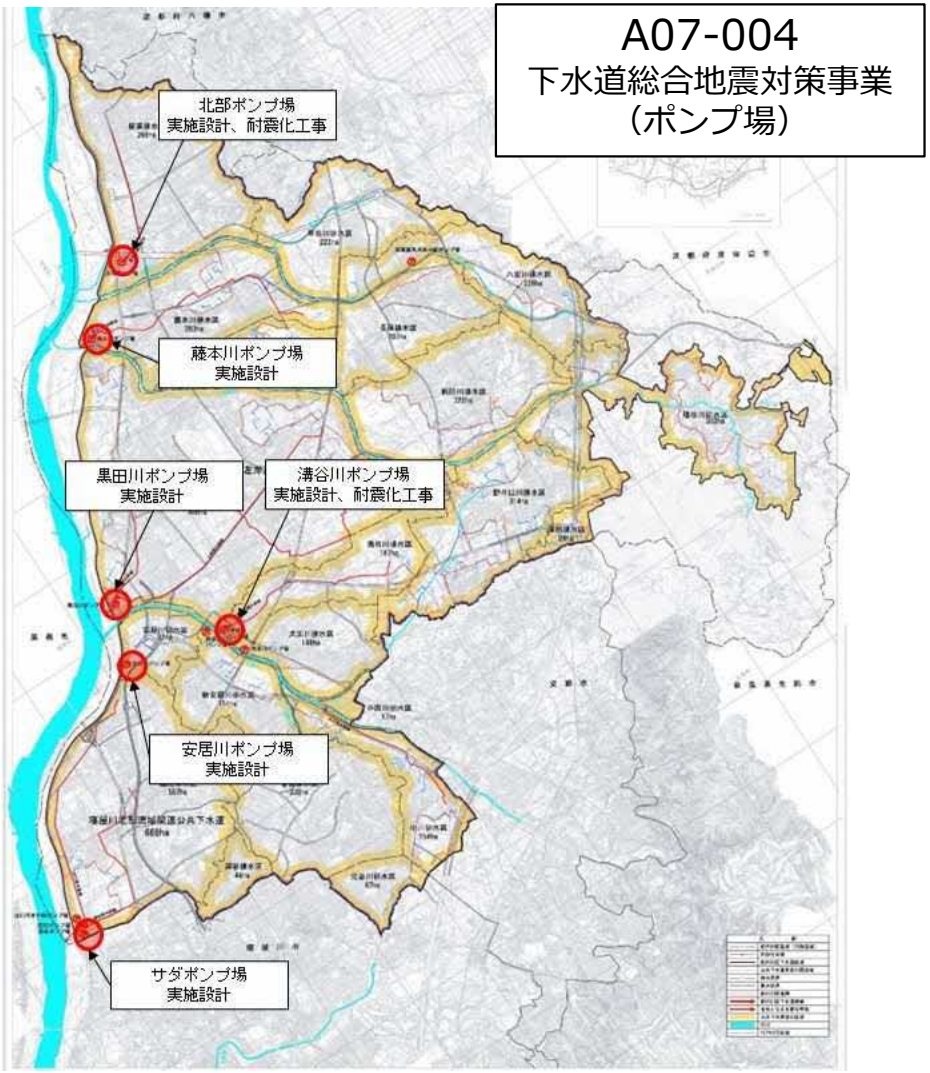
3－3．事業の実施状況（防災・安全交付金）



3.事後評価（防災・安全交付金）

3－3．事業の実施状況（防災・安全交付金）

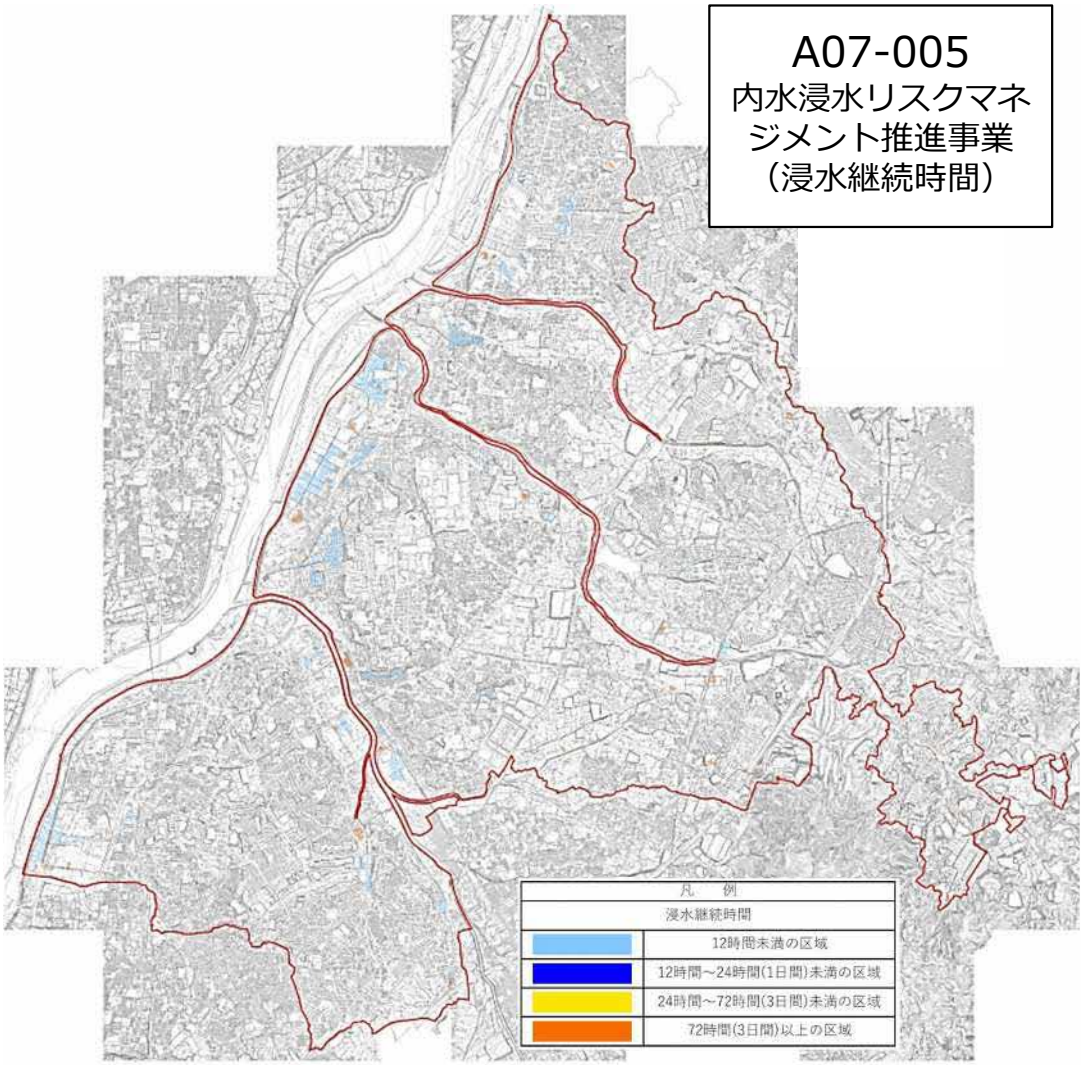




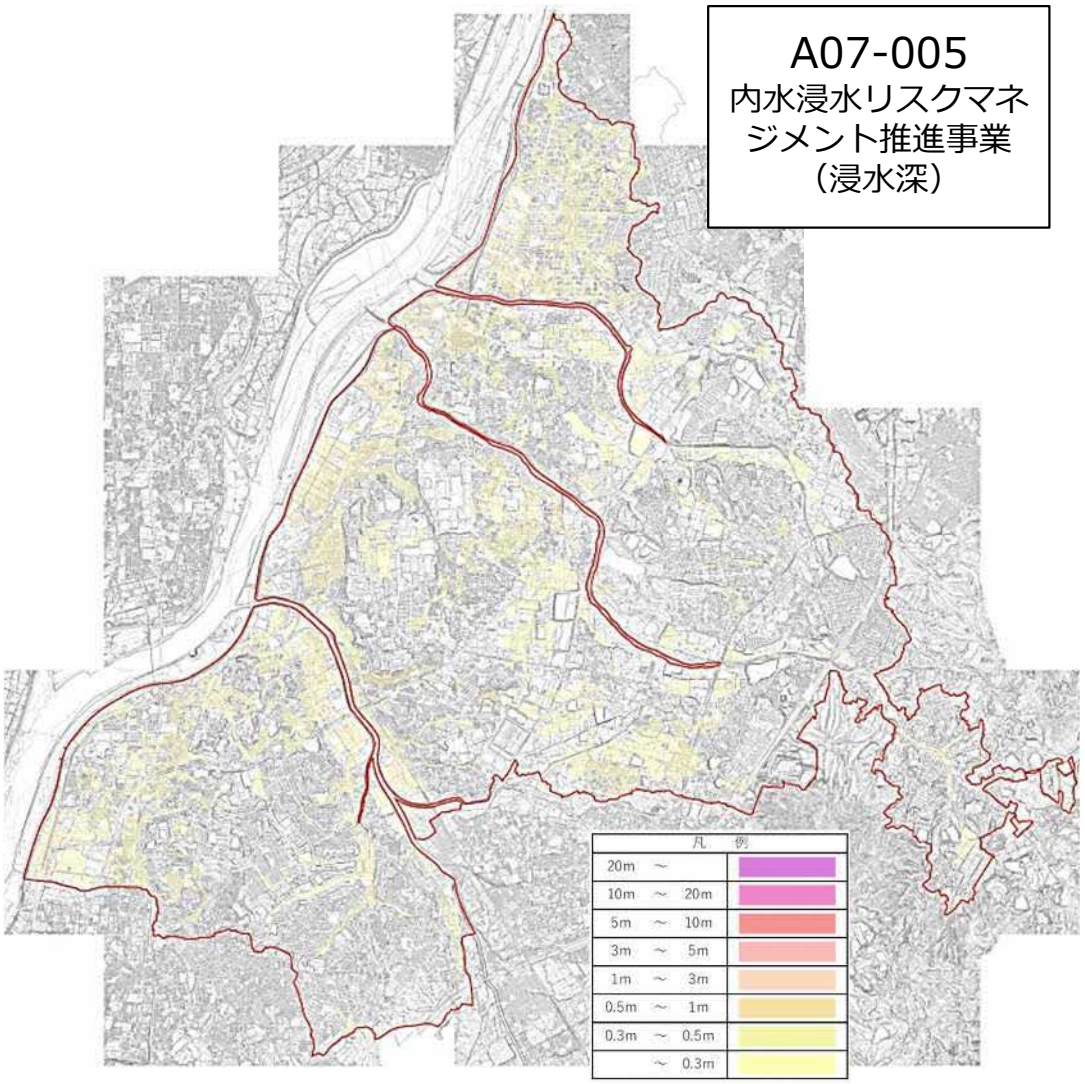
3.事後評価（防災・安全交付金）

3－3．事業の実施状況（防災・安全交付金）

A07-005
内水浸水リスクマネジメント推進事業
（浸水継続時間）



A07-005
内水浸水リスクマネジメント推進事業
（浸水深）



３.事後評価（防災・安全交付金）

３－４．目標値の達成状況①

【定量的指標】
　枚方市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的に下水道管路の点検・調査を行い、下水道管路老朽化対策達成率を増加させる。

【定量的指標の定義及び算定式】
下水道管路老朽化対策達成率（%）
＝（調査済み延長／
　下水道ストックマネジメント計画に位置付けられた調査延長）×100

＜令和２年度当初＞

0m／28,016m×100　＝　0%

＜令和６年度末＞

28,016m／28,016m×100　＝　100%

目標達成

（目標値：100%）

3.事後評価（防災・安全交付金）

3－4．目標値の達成状況②

【定量的指標】
　枚方市下水道ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場の受変電設備などの更新を図り、ポンプ場老朽化対策達成率を増加させる。

【定量的指標の定義及び算定式】
ポンプ場老朽化対策達成率（%）
＝（対策済み設備数／
　下水道ストックマネジメント計画に位置付けられた設備数）×100

<令和２年度当初>

0設備／10設備×100　＝　0%

<令和６年度末>

6設備／10設備×100　＝　60%

（目標値：100%）

目標未達成

３.事後評価（防災・安全交付金）

３－４．目標値の達成状況③

【定量的指標】

枚方市下水道総合地震対策計画に基づき、耐震診断や対策工事を実施することにより、下水道管路耐震化対策達成率を増加させる。

【定量的指標の定義及び算定式】

下水道管路耐震化対策達成率（%）

＝（対策済み延長／

下水道総合地震対策計画に位置付けられた重要な幹線等の延長）×100

＜令和２年度当初＞　※整備計画作成時は23.4%と想定

64.1km／268.9km×100　＝　23.8%

＜令和６年度末＞

64.3km／268.9km×100　＝　23.9%

（目標値：24.2%）

目標達成

※事後評価書の目標値及び実績値は、整数での表示となり、24%として報告するため、目標達成となります。

3.事後評価（防災・安全交付金）

3－4．目標値の達成状況④

【定量的指標】
　枚方市下水道総合地震対策計画に基づき、耐震診断や対策工事を実施することにより、ポンプ場耐震化対策達成率を増加させる。

【定量的指標の定義及び算定式】
ポンプ場耐震化対策達成率（%）
＝（対策済み施設数／
　下水道総合地震対策計画に位置付けられた重要な幹線等の施設数）×100

＜令和２年度当初＞
　15施設／77施設×100　＝　19.5%
＜令和６年度末＞
　30施設／77施設×100　＝　39.0%
（目標値：36.4%）

目標達成